

# 愛知の土地改良

第177号

平成25年5月1日



Land improvement of Aichi

## 田んぼと生き物

「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展2012  
全国水土里ネット会長賞  
知立市立来迎寺小5年 東山 侑真さんの作品

□ 第55回通常総会開催	2
□ 全国水土里ネット表彰式開催	4
□ 平成25年度愛知県予算	5
□ 農業農村整備の集い開催	6
□ 平成25年度農業農村整備事業に関する重点要請活動を実施	7
□ 農業用排水機県営移管期成同盟会 第52回通常総会開催	8
□ 全国農業用水小水力発電推進協議会 第2回理事会開催	8
□ 平成24年度水土里ネット役職員研修会開催	9
□ 会員情報	9
□ 平成25年度本会参与	10
□ 水土総合強化推進事業情報	10
□ 水土里ネット愛知辞令	11
□ 水土里ネット愛知事務局機構	12

# 第55回通常総会開催

～提出議案原案通り議決される～

本会の第55回通常総会を3月28日、愛知県土地改良会館において、大村秀章愛知県知事始め、森多可志東海農政局長、澤田丸四郎愛知県議会副議長、安藤としき愛知県議会農林水産委員長ほか、国、県の関係者多数の来賓を迎え、会員129名が出席して開催した。

総会は、川上万一郎理事の開会のことばの後、神谷金衛会長より「25年度の農業農村整備事業は平成24年度補正予算を含めると平成21年の政権交代前を超える水準に増額されることとなった。愛知県においても、厳しい財政状況の中、前年度比194%と大幅に増額されており、単独土地改良事業についても、対前年同額の予算が確保された。また、小水力発電についても、羽布ダムや四谷地区などでの取組が具体化しており、昨年設立した愛知県農業用水小水力発電推進協議会を十分活用し、県内への普及をより一層加速化してまいりたい。農業・農村が再び大きな飛躍を迎えようとしている今こそ、会員の皆様方と更なる連携をはかり、心をひとつにして土地改良事業を積極的に推進することが必要であり、我々の責務であると思います。」と挨拶、続いて土地改良功労者8名に対し、大村愛知県知事より、また土地



神谷会長挨拶

改良団体職員永年勤続者14名に対し、神谷会長より表彰状が授与された。続いて来賓祝辞として大村愛知県知事、森東海農政局長、澤田愛知県議会副議長よりそれぞれ祝辞をいただき議事に入った。

議長には、久留宮泰啓福田悪水土地改良区理事長が選任され、平成23年度事業報告並びに収支決算、平成24年度収支補正予算、平成25年度事業計画並びに収支予算等、提出議案はいずれも原案通り可決承認された。続いて県下、土地改良事業のより一層の推進を図るため、国及び県に対する要望決議を全会一致で採択し、川上理事の閉会のことばで総会を終了した。

## 愛知県知事表彰

所属・役職

氏名(敬称略)

西福田土地改良区理事長	市野清一
領内川用悪水土地改良区副理事長	加藤菊雄
(前)篠田悪水土地改良区理事長	原忠之
知多南部土地改良区理事長	丸山喜幹
岩津用水土地改良区理事長	小芦誠
矢作川南部土地改良区副理事長	樋口彰
豊田土地改良区理事	中野政好
豊川市土地改良区理事	杉山好一



受賞者を代表して大村知事より表彰状を受け取る市野理事長

# 愛知県土地改良事業団体連合会会長表彰

所属	氏名	所属	氏名 (敬称略)
◆名古屋支会		◆愛知県土地改良事業団体連合会	山田 哲也 宮崎 偉平 大平 則夫 大久保 浩幸 久保 浩徳
協和土地改良区	中村 史子		
◆一宮支会			
一宮市	大島 真二		
宮田用水土地改良区	後藤 篤志		
宮田用水土地改良区	水野 篤史		
◆海部支会			
日光川西悪水土地改良区	園部 恵子		
◆岡崎支会			
幸田町	加藤 隆弘		
明治用水土地改良区	岡田 貴司		
◆豊橋支会			
田原市	荒木 昭次		
豊川市土地改良区	田嶋 浩明		



受賞者を代表して神谷会長より表彰状を受け取る中村さん

## 土地改良事業推進に関する要望決議

農業・農村においては、過疎化、高齢化、担い手不足に加え、地域活力の低下などの課題が山積しており、環太平洋連携協定（ＴＰＰ）の交渉如何によっては、日本の食と農業、農村に甚大な影響を与えることが懸念されるところである。こうした中、土地改良事業により生産性の高い優良農地と安定した農業用水を確保することは、我が国の農業の基礎を支え、競争力を高めるうえで、ますます重要となっている。

また、東日本大震災や各地で頻発する集中豪雨の猛威を目の当たりにし、本県においては、東海・東南海・南海などの大規模地震への対策や、平成十二年の東海豪雨を教訓とした排水対策など、地域の防災・減災対策を担う土地改良事業に対し、県民の要望は一層高まっている。

さらに本県の土地改良事業には、美しく快適な農村環境の形成や、農村地域における生物多様性の保全、農村の水資源を活用した再生可能エネルギー、小水力発電の普及など、環境先進県としての愛知を形作ることが求められている。

我々土地改良関係者は、貴重な資源である「水」と「土」を守り育み、食の安全・安心を確保するため、土地改良事業が地域の合意に基づき、地域に密着した、真に必要な事業であることを強く訴えらるるとともに、今後とも土地改良事業が着実に推進できるよう強く要望する。

## 記

- 一、食料自給率を向上させる農業生産基盤、災害に強い地域をつくる農地防災対策を推進し、農業のみならず地域の発展に重要な役割を担う土地改良事業に、地域の要望に応えられる国、県、市町村予算を十分に確保すること
- 一、地域住民が一体となって、貴重な地域資源である農地、農業用水を保全し、土地改良施設の長寿命化を図る農地・水保全管理支払交付金事業を推進すること
- 一、農業用水を利用した小水力発電を推進すること
- 一、地域に密着した単独原費補助事業を推進すること
- 一、土地改良施設維持管理に対する財政支援を拡充・強化すること
- 一、農業水利権を充実・強化すること
- 一、土地改良団体の育成強化と事業推進体制を一層整備すること

右決議する。

平成二十五年三月二十八日

愛知県土地改良事業団体連合会  
第五十五回 通常総会

# 全国水土里ネット表彰式 開催

3月26日、全国水土里ネット主催による第54回土地改良功労者表彰式並びに平成24年度農業農村整備優良地区コンクール表彰式が東京都千代田区永田町シェーンバツハ砂防において開催され、林 芳正農林水産大臣、實重重実農村振興局長はじめ幹部の方々が出席、全国より受賞者、関係者約600人が参集した。

始めに主催者を代表して、野中広務全国水土里ネット会長が「皆さんにはそれぞれのお立場で、土地改良の推進と地域振興にご尽力を賜るようお願い申し上げます。」と式辞を述べ、その後、来賓挨拶として林 芳正農林水産大臣から祝辞が述べられた。



野中全国水土里ネット会長挨拶

表彰式は、農林水産大臣表彰、農村振興局長表彰、全国水土里ネット会長表彰の順に行われ、第54回土地改良功労者表彰では農林水産大臣表彰優良土地改良区5地区、全国水土里ネット会長表彰金章36地区、銀章53地区、銅章32地区、個人表彰107名に表彰状が贈られた。

また、農業農村整備優良地区コンクール表彰では農林水産大臣賞として2地区が受賞し、本県では「ふれあいの道を育てる会(新矢作川用水地区)」が受賞し、林 芳正農林水産大臣より和田 實会長に賞状が授与された。続いて農村振興局長賞7地区、全国水土里ネット会長5地区にそれぞれ賞状が贈られた。

本県からの受賞は次のとおり。



林農林水産大臣より賞状を授与されるふれあいの道を育てる会の和田会長

## 第54回土地改良功労者表彰

### 【金章、銀章、銅章表彰】

金章	矢作川沿岸土地改良区連合
銀章	知多市土地改良区 油ヶ渚悪水土地改良区
銅章	佐織土地改良区 豊橋北西部土地改良区

### 【個人表彰】

伊藤 馨 (十三沖永悪水土地改良区理事長)
浜田 穆 (前 立田輪中悪水土地改良区理事長)
萩野 芳樹 (水土里ネット愛知 総務部次長(兼)企画広報課長)

## 平成24年度農業農村整備優良地区コンクール表彰

農村振興整備部門

農林水産大臣賞 ふれあいの道を育てる会 (新矢作川用水地区)

 受賞の栄に浴された団体並びに個人の方々に心よりお慶び申し上げます。

(千円)

平成25年度予算①			平成24年度 2月補正 (25年度執行)②	計(①+②)	平成24年度 当初予算		
区分	予算額	内 訳					
土地改良事業費	7,685,247	1. 公共事業	6,336,040	5,024,240	11,360,280	6,104,458	
		(1) 県営土地改良事業費	5,890,812	4,724,536	10,615,348	5,633,680	
		ア. かんがい排水事業費 3地区	502,425	600,000	1,102,425	729,645	
		イ. 水環境整備事業費 14地区	691,635	476,000	1,167,635	871,710	
		ウ. 排水対策特別事業費 1地区	124,215	50,000	174,215	122,115	
		エ. 水質保全対策事業費 4地区	472,710	435,000	907,710	341,985	
		オ. 畑地帯総合土地改良事業費 7地区	788,025	263,000	1,051,025	892,185	
		カ. 農村活性化住環境整備事業費 2地区	55,860	30,000	85,860	136,080	
		キ. 農村自然環境整備事業費 1地区	42,525	100,000	142,525	138,075	
		ク. 経営体育成基盤整備事業費 13地区	1,451,940	903,000	2,354,940	996,240	
		ケ. 広域営農団地農道整備事業費 2地区	658,560	187,536	846,096	531,090	
		コ. ふるさと水と土ふれあい事業費 1地区	101,700	20,000	121,700	71,190	
		サ. 農地環境整備事業費 4地区	470,106	452,000	922,106	343,560	
		シ. 農業水利施設保全対策事業費 12地区	483,336	1,208,000	1,691,336	459,805	
		ス. 小水力発電施設整備費 1地区	47,775	0	47,775	0	
		(2) 団体営土地改良事業費	445,228	299,704	744,932	470,778	
		ア. 事業費補助金	415,040	299,704	714,744	432,760	
		a. 農村振興総合整備事業費補助金	70,360	0	70,360	65,200	
		b. 農業集落排水事業費補助金	142,720	201,104	343,824	256,680	
		- 土地改良調査設計費補助金【土地改良諸費へ】	0	0	0	10,240	
		c. 基盤整備促進事業費補助金	201,960	98,600	300,560	100,640	
		イ. 指導事務費	30,188	—	30,188	38,018	
		2. 単県事業	1,330,000	0	1,330,000	1,330,000	
		(1) 小規模かんがい排水事業費補助金	54,000	0	54,000	54,000	
		(2) 山村振興営農環境整備事業費補助金	50,000	0	50,000	50,000	
		(3) 土地改良事業費補助金	1,226,000	0	1,226,000	1,226,000	
	3. 受託事業	7,431	0	7,431	0		
	土地改良受託事業費	7,431	0	7,431	0		
	4. 基幹水利施設技術指導事業費	8,220	0	8,220	8,717		
	5. 土地改良指導費【土地改良諸費へ】	—	—	—	14,058		
	6. 農業農村整備事業評価費	3,556	0	3,556	0		
農地防災事業費	10,066,497	1. 公共事業	8,039,115	7,542,000	15,581,115	7,816,809	
		県営農地防災事業費	8,039,115	7,542,000	15,581,115	7,816,809	
		ア. たん水防除事業費 35地区	3,399,900	2,672,000	6,071,900	3,531,864	
		イ. 老朽ため池等整備事業費 2地区	49,245	30,000	79,245	256,935	
		ウ. 用排水施設整備事業費 2地区	275,625	250,000	525,625	338,835	
		エ. 地盤沈下対策事業費 7地区	940,065	1,140,000	2,080,065	1,515,675	
		オ. 海岸整備事業費 6地区	1,454,040	356,000	1,810,040	1,115,205	
		カ. 防災ダム事業費 16地区	1,007,895	240,000	1,247,895	181,860	
		- 土地改良施設耐震対策事業費	0	2,298,600	2,298,600	142,380	
		キ. 国営附帯県営農地防災事業費 2地区	134,925	80,000	214,925	127,470	
		ク. 特定農業用管路特別対策事業費 10地区	777,420	475,400	1,252,820	606,585	
		2. 単県事業	2,027,382	0	2,027,382	1,259,303	
		(1) 緊急農地防災事業費	1,553,964	0	1,553,964	1,174,718	
		ア. 排水施設整備事業費	1,339,622	0	1,339,622	995,384	
		イ. 老朽ため池整備事業費	186,400	0	186,400	151,700	
		ウ. 応急排水機整備事業費	27,942	0	27,942	27,634	
		(2) 緊急海岸整備事業費	98,000	0	98,000	80,000	
		(3) 土地改良施設維持管理費【土地改良諸費から】	371,062	0	371,062	—	
		ア. 海岸堤防維持管理費	10,977	0	10,977	—	
		イ. 排水機維持管理費補助金	360,085	0	360,085	—	
		(4) 応急排水機管理費	4,356	0	4,356	4,585	
		3. 受託事業費	0	0	0	12,600	
		農地防災受託事業費	0	0	0	12,600	
	土地改良諸費	4,938,652	1. 公共事業	29,556	0	29,556	0
			ア. 土地改良施設耐震対策事業費 6地区	27,636	0	27,636	0
			イ. 土地改良調査設計費補助金【土地改良事業費から】	1,920	0	1,920	0
		2. 直轄土地改良事業費負担金	4,191,220	358,310	4,549,530	8,773,208	
		3. 矢作川利水総合管理費	271,094	0	271,094	256,540	
		4. 尾張西部排水施設管理費	98,064	0	98,064	97,716	
		5. 土地改良施設維持管理費【農地防災事業費へ】	—	—	—	374,921	
		(1) 海岸堤防維持管理費	—	—	—	11,467	
		(2) 排水機維持管理費補助金	—	—	—	363,454	
		6. 農村総合整備事業計画調査費	1,000	0	1,000	0	
		7. 土地改良計画調査費	1,946	0	1,946	2,208	
		8. 排水対策調査費	504	0	504	380	
		9. 中山間ふるさと・水と土保全対策事業費	8,680	0	8,680	9,653	
	10. 農地・水保全管理支払事業費	322,150	0	322,150	361,813		
	(1) 共同活動支援交付金	188,388	0	188,388	279,072		
	(2) 向上活動支援交付金	122,312	0	122,312	69,698		
	(3) 推進事業費	11,450	0	11,450	13,043		
	11. 小水力発電推進検討事業費	10,400	0	10,400	0		
	12. 土地改良指導費【土地改良事業費から】	4,038	0	4,038	—		
農業用水費	10,765,359	1. 木曾川用水事業費	158,486	0	158,486	155,032	
		2. 豊川用水事業費	4,972,499	—	4,972,499	4,779,444	
		3. 愛知用水事業費	5,634,374	0	5,634,374	5,637,219	
農地施設 災害復旧費	45,000	1. 農地施設災害復旧費	45,000	—	45,000	157,575	
総 額	33,500,755		33,500,755	12,924,550	46,425,305	37,151,654	

平成25年度  
愛知県  
予算

**土地改良関係予算総額は三三五億円  
平成二十五年度執行額は平成二十四年度補正分を含め四六四億円**

愛知県では、二月二十日から三月二十六日までの定例県議会において一般会計二兆二八四億三三〇〇万円、特別会計七八九億三三三二万円、企業会計一七八一億三四九〇万円の平成二十五年度当初予算案が審議され可決成立した。

また、平成二十四年度補正予算についても審議され、国の補正に合わせた土地改良関係の公共事業補正予算一億二四九億二四五万円が可決成立した。この補正予算は、平成二十五年度へ繰り越され執行されることとなった。

なお、土地改良関係の予算は次のとおり。

## 農業農村整備の集い開催

1月17日「農業農村整備の集い」が東京都千代田区のシェーンバツハ砂防において開催された。この集いは、平成25年度の予算編成期を迎え大幅に削減された農業農村整備予算を復活させることを目的に開催されたもので、全国から土地改良関係者約700名が参集し、本県からは、本会の神谷金衛会長をはじめ、会員土地改良区、市町より23名が参加した。また、衆参国会議員が政党を超え、110名の出席があった。



集いは、全国水土里ネット眞野 弘副会長の開会宣言に続き、野中広務会長が「農業農村整備事業予算については、平成24年度補正予算に平成25年度当初予算を加えた予算額として、平成21年度並の予算が確保される見通しとなったことや、震災からの復旧・復興とともに、担い手の減少に対応した農地の整備、老朽化



挨拶をする野中全国水土里ネット会長

の著しい農業水利施設の整備を進めていくことを全国の農業農村整備関係者の決意としたい。」

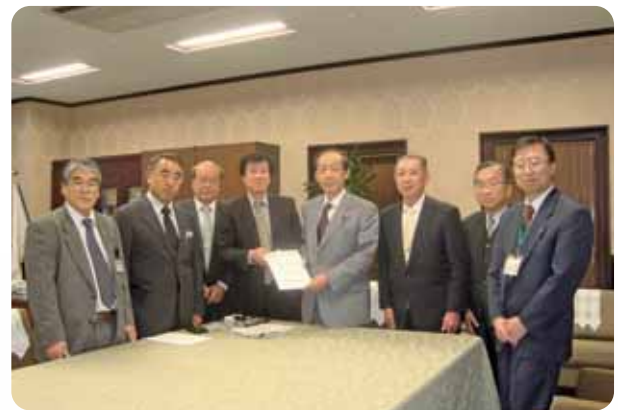


祝辞を述べる林農林水産大臣

と挨拶、続いて、来賓として臨席された林芳正農林水産大臣から、「本大会の成功が全国の農業農村の発展の礎となることを願うとともに、参集された皆様に我が国農業の振興と豊かな国土の形成により一層貢献していただきたい。」と祝辞が述べられた。

この後、農業農村整備事業の効果について、北海道のてしおがわ土地改良区の国営事業地区をはじめ、4地区の事例が発表された後、要請書が読み上げられた。

集い終了後、採択された要請書により財務省、農林水産省他関係機関並びに本県選出関係国会議員に要請活動を実施した。



山口俊一財務副大臣に要請書を手交

## 要請書

農業・農村は、国の大本であり、日本の豊かな国土や自然環境も、農業・農村が健全であって初めて維持されるものである。このため先人達は、農業・農村の健全な発展のために、農地や農業用水路などの維持、向上に向け、献身的な努力を続けてきた。

しなしながら、平成22年度における農業農村整備予算の大幅な削減によって、我が国の農業・農村は将来に大きな不安を抱えることとなった。

さらに、東日本大震災は、先人達の努力の結晶を破壊し、被災地域の農業・農村に大きな爪痕を残した。現地では、一刻も早い復旧・復興を強く望んでいる。農業水利施設の老朽化も進行しており、食料生産の増大、転作作物への転換に影響を及ぼし、食料自給率の向上に支障を来すばかりでなく、農村地域における災害の増加をもたらすのではないかと危惧されることである。

全国の農業・農村においては、過疎化、高齢化、担い手不足に加え、地域活力の低下などの課題が山積みしている。また、環太平洋経済連携協定(TPP)交渉如何によっては、日本の食と農業、美しい農村に甚大な影響を与えることが懸念されることである。今こそ、集落営農を含む担い手への農地集積の加速化、経営規模拡大の実現によって、新たな地域農業を切り開いていく必要がある。

更には、自然再生エネルギーへの国民の関心が高まり、農村の土地・水資源を活用した小水力発電等への期待が大きくなっている。

現下の農業農村整備を巡る厳しい現状と課題を踏まえ、全国各地からの要望である下記事項の実現を強く要請する。

## 記

25年度当初予算において、大幅に削減された公共予算としての農業農村整備予算を復活させること。その上で、以下の政策を実現すること。

- 一 国民の命を守り、我が国の食と農林漁業を再生するため、老朽化した農業水利施設の保全整備や耐震化の推進等の事前防災に万全の対策を講じること。
- 二 東日本大震災を始めとする災害からの復旧・復興に向け、農業用施設、農地海岸保全施設等の復旧や農地の瓦礫除去、除塩、除染等の対策を加速的に進めること。
- 三 食料自給率の向上と担い手への農地集積の加速化を実現し、攻めの農業を展開するため、水田の大区画化や汎用化、畑地かんがい施設の整備をはじめとした各種の対策を、国が責任をもって推進すること。
- 四 TPP交渉により、日本の食の安全・安心を担い、多面的機能を発揮している農業・農村とこれを支える農家の生産意欲に、悪影響を及ぼすようなことは断固行わないこと。
- 五 農業水利施設を活用した小水力発電等の再生可能エネルギーの普及に向け、国の支援の充実を図ること。

# 平成25年度農業農村整備事業に関する重点要請活動を実施

去る1月17日「農業農村整備の集い」が東京都において開催され、集い終了後、採択された要請書により、集いに参加した神谷金衛会長をはじめとする参加者が、本県選出関係国会議員に対し、

要請活動を実施したが、併せて愛知県における「平成25年度農業農村整備事業に関する重点要請」として10項目の要請活動を行った。

要請内容は次のとおり。

### 【要請書】

農業農村整備事業の推進につきましては、日頃から格別のご理解とご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

愛知県は、農業産出額第6位という全国でも有数の農業県ですが、一方で、我が国最大規模の海拔ゼロメートル地帯を有する特殊な事情も抱えていることから、継続的な各種の社会基盤整備が不可欠であります。

しかしながら、平成22年度に農業農村整備事業予算が大幅に削減されたため、農村地域における整備が滞っております。

このため、食料生産の体質強化を図る農業生産基盤の整備とともに、東海・東南海・南海等の発生が危惧される大規模地震や、近年多発するゲリラ豪雨等に備えた防災・減災のための農業用施設の耐震対策・更新整備が喫緊の課題であります。

また、農村の多面的機能の維持や、再生可能エネルギーの一つである農業用水を利用した小水力発電に対する新たな取組みも積極的に進めていかなければなりません。

今回、こうした課題や地域の声を届けるべく、農地防災対策を始めとする重点要請を行います。

経済情勢の低迷により、財政状況は依然として厳しい状態が続いておりますが、国・県と連携して効率的・効果的な農業農村整備事業を実施していく必要がありますので、格別のご高配をお願いいたします。

### 【重点要請10項目】

- 1 農業農村整備事業予算の拡大について
- 2 防災・減災に資する農業用施設の更新整備、耐震対策の促進について
  - ①ゼロメートル地帯を守る農業用排水機場
  - ②決壊すれば甚大な被害が想定される農業用ため池
- 3 農業の競争力強化を図る農業生産基盤整備の促進について
- 4 農業用水を利用した小水力発電の促進について
- 5 農地・水保全管理支払交付金の恒久化等について
- 6 農業水利施設の適切な維持管理に対する支援について
- 7 国営総合農地防災事業 矢作川総合第二期地区の早期着工について
- 8 国営総合農地防災事業 新濃尾地区の推進について
- 9 国営尾張西部地区で造成された排水機場の適切な機能保全について
- 10 水資源機構宮 豊川用水二期事業の推進について

## 農業用排水機具営移管期成同盟会 第52回通常総会開催

2月6日、名鉄ニューグランドホテルにおいて、農業用排水機具営移管期成同盟会の第52回通常総会が、来賓に溝田大助農林基盤担当局長始め、農林水産部幹部の方々及び各農林水産事務所長を迎え、会員多数出席のもと開催された。

総会は、佐野幸雄副会長（飛島土地改良区理事長）の開会の言葉に始まり、服部金藏会長（孫宝排水土地改良区理事長）の挨拶がなされた後、農業用排水機技術者5名の永年勤続表彰を行い、川上万二郎副会長（矢作川南部土地改良区理事長）か

ら受賞者代表の蟹江大滞悪水土地改良区の杉浦和美氏に感謝状と記念品が贈られた。

続いて議事に入り、議長には佐野副会長が選任され、平成23年度事業報告・同収支決算承認、平成25年度事業計画・同会費の賦課基準・同収支予算について審議し、原案どおり可決承認された。

議事終了後、溝田農林基盤担当局長から祝辞が述べられた後、続いてご臨席いただいた来賓の紹介を行い、総会は幕を閉じた。



議長を務める佐野副会長

### 永年勤続表彰受賞者

管内	所属	氏名（敬称略）
海部	蟹江大滞悪水土地改良区	杉浦和美
	鍋田土地改良区	安藤仁司
岡崎	碧南市	金原志貴夫
幡豆	西尾市	犬塚忠雄
豊橋	豊川市	中西耕一

## 全国農業用水小水力発電推進協議会 第2回理事会開催

### 関係省庁等に要望書提出

全国農業用水小水力発電推進協議会の第2回理事会が1月18日に砂防会館において開催された。

本協議会は、農業用水を活用した小水力発電を



神谷会長による会長挨拶

実施、または導入を検討している全国の市町村、土地改良区、県土連等々が参加し、平成24年4月25日設立され、会長には神谷金衛本会（水士里ネット愛知）会長が就任している。

理事会は神谷会長の挨拶の後、神谷会長を議長に選任し議事に入った。提出された議案は平成24年度活動実績の報告、要請活動についての2議案でいずれも原案のとおり可決、承認された。

理事会終了後、要請活動を行い、①電気事業法の規制の緩和、②河川法の許可手続の簡素化、弾力化、③国の支援の充実、④小水力発電の特徴を踏まえた配慮、⑤賦課金の減免措置を主な内容とする要望書を経済産業省、国土交通省、農林水産省、関係国会議員等に対して提出した。



# 平成24年度 水土里ネット 役職員研修会 開催

1月22日、愛知県土地改良会館7階大会議室において、県下64の水土里ネットから役職員総勢107名(役員47名、職員60名)の参加を得て水土里ネット役職員研修会を開催した。

研修会の開会にあたり、樋口事務局長が「土地改良区は土地改良法により位置づけられた組織であり、土地改良事業を実施する団体として、県知事の認可により設立された公法人であり、色々な権限や強制力を持っており、法令に基づき適切な業務を執行することが必要不可欠である。また、名古屋大学大学院教授の生源寺 眞一先生からの講演も予定しており、先生の客観的、実証的なお考えは、私達が農政を学ぶ中で、大変参考になると思います。」と挨拶を行った。

講師は、下記カリキュラムにあるように東海農政局、全国水土里ネットから迎え、土地改良区における理事役割、検査制度の概要、複式簿記について具体的に指導いただいた。また今回、講師を



生源寺名古屋大学大学院教授

お願いした名古屋大学大学院の生源寺教授は、愛知県名古屋市のご出身で農林水産省研究員などを経て、平成8年東京大学農学部教授、平成23年からは名古屋大学大学院生命農学研究科教授に就任され、食料・農業・農村政策審議会委員、国土審議会委員、日本学術会議会員などの要職に就かれ、著書も「日本農業の真実」、「農業と農政の視野－論理の力と歴史の重み」、「農業がわかると、社会のしくみが見えてくる 高校生からの食と農の経済学入門」等多数執筆されている。講演等についても各方面からの要請があり、お忙しい中ではありましたが、今回、役職員研修の講師を引き受けていただき、「水田農業を中心に 農業・農政のあり方を考える」をテーマに講演をしていただいた。

## [カリキュラム]

時間	研修内容	講師 (敬称略)
10:30~10:40	開 会	水土里ネット愛知 事務局長 樋口利彦
10:40~12:00	土地改良区の業務運営と理事の役割	東海農政局 農村計画部 土地改良管理課長 杉原一朗
13:00~13:30	土地改良区検査制度について	東海農政局 農村計画部 土地改良管理課長 杉原一朗
13:40~15:00	土地改良区複式簿記会計について	全国水土里ネット中央換地センター所長 浦山正四
15:15~16:30	農業・農政のあり方を考える —— 水田農業を中心に ——	名古屋大学大学院 生命農学研究科教授 生源寺 眞一
16:30~	閉 会	水土里ネット愛知 総務部長 早川清春

## 会 員 情 報

### 土地改良区

○ 3月28日、阿久比中部土地改良区が、解散により本会から脱退しました。

4月1日現在の水土里ネット愛知の会員数は、162会員(市町村54、土地改良区108)です。

## 愛知県農林水産部の人事異動に伴い、 平成25年度の本会参与に次の方々にご就任いただきました。

(敬称略)

愛知県農林水産部農林基盤担当局長	溝 田 大 助	愛知県海部農林水産事務所長	松 本 裕 喜
愛知県農林水産部農林基盤担当局長次長	知 崎 剛 久	愛知県知多農林水産事務所長	宮 田 広 光
愛知県農林水産部農林基盤担当 農地環境対策監	山 本 信 介	愛知県西三河農林水産事務所長	伊 藤 啓 司
愛知県農林水産部農林基盤担当 農地計画課長	勝 又 久 幸	愛知県西三河農林水産事務所 幡豆農地整備出張所長	宮 本 晃
愛知県農林水産部農林基盤担当 農地整備課長	中 村 直 文	愛知県豊田加茂農林水産事務所長	足 立 哲 也
愛知県尾張農林水産事務所長	深 尾 敏 明	愛知県新城設楽農林水産事務所長	加 藤 知
愛知県尾張農林水産事務所 一宮支所長	服 部 宏 之	愛知県東三河農林水産事務所長	近 藤 文 男

## 水土総合強化推進事業情報

### ▶ 農業基盤整備資金の金利のご案内

平成25年4月1日現在の日本政策金融公庫の農業基盤整備資金の貸付金利は次のとおりです。

金利は金融情勢により変動します。

最新の金利は名古屋支店農林水産業農業食品第二課（TEL052-582-0745）にお問い合わせください。

区 分	利率一覧（平成25年4月1日現在）				
	借入期間にかかわらず	融資期間別（一例）			
		5年	10年	15年	20年
県営補助残	1.25%	—	—	—	—
団体営補助残	1.10%	—	—	—	—
非 補 助	1.10%	—	—	—	—
災 害 復 旧	—	0.35%	0.55%	0.85%	1.10%

### ▶ 土地改良施設の診断・管理指導実績

平成25年度の診断・管理指導は、次のとおりです。

診断・管理指導土地改良区等数			診断・管理指導施設数							指 導 延日数
土地改良区	市町村	計	頭首工	排水機	揚水機	水路	樋水門	ため池	計	
38地区	24地区	62地区	1箇所	40箇所	29箇所	62箇所	1箇所	4箇所	137箇所	130日

### ▶ 土地改良事業に関する法律相談

平成25年度の土地改良法律相談予定日は、次のとおりです。

詳細は、水土里センター室または関係支会にお問い合わせください。

**相 談 日** ▶ 平成25年6月6日（木）、9月6日（金）、12月6日（金）、平成26年3月6日（木）

**場 所** ▶ 愛知県土地改良会館

**相 談 員** ▶ 弁護士 大場 民男

**相談依頼者** ▶ 愛知県、市町村、土地改良区（連合）

1月31日付

退職 浅野康明

3月31日付

定年退職 平野和美  
 定年退職 服部辰美  
 定年退職 加賀昇  
 定年退職 岡田久泰  
 定年退職 竹下和男  
 定年退職 野畑誠樹  
 定年退職 戸田直洋  
 退職 原田守男



4月1日付

新	氏名	旧
耐震対策担当部長	鈴木敏生	計画部長
計画部長(兼)計画課長	長坂紀春	計画部次長(兼)計画課長
整備部測量課長	石黒義春	整備部測量課課長補佐
計画部計画課主幹	戸鹿島芳三	計画部計画課課長補佐
計画部調査課主幹	服部厚宣	計画部調査課課長補佐
整備部整備課主幹	桑山豊	整備部整備課課長補佐
整備部測量課主幹	清水利泰	整備部測量課課長補佐
名古屋支会事務長	長谷川経倫	一宮支会事務長
一宮支会事務長	水野浩	整備部施設管理課課長補佐
海部支会事務長	池田仁	計画部調査課課長補佐
半田支会事務長	小笠原和彦	幡豆支会事務長
岡崎支会事務長	異相啓一	整備部整備課課長補佐
幡豆支会事務長	嶋崎信	計画部水土里センター室室長補佐
総務部総務課課長補佐	澤田順治	総務部総務課主任専門員
整備部整備課課長補佐(兼)測量課課長補佐	平野隆浩	整備部整備課課長補佐
整備部施設管理課課長補佐	齋藤謙三	整備部測量課主任専門員
総務部企画広報課主任専門員	水谷秀光	総務部企画広報課係長
計画部計画課主任専門員	佐藤広尚	計画部計画課係長
計画部調査課主任専門員	竹内雅彦	計画部調査課係長
整備部測量課主任専門員	竹田裕司	整備部測量課係長
整備部整備課係長	磯谷亮輔	整備部整備課主査
整備部整備課主任主査	小池義夫	総務部総務課主査
整備部測量課主任主査	森口稔宏	整備部測量課主査
計画部調査課主査	早川晃生	総務部総務課主査
整備部整備課主査	中根伸也	整備部整備課技師
整備部整備課主査	井上敬將	整備部整備課技師
総務部総務課技師	伊藤絵美子	計画部調査課技師
整備部整備課技師	戸谷武志	計画部調査課技師
整備部施設管理課技師	大久保徳之	計画部計画課技師
計画部計画課技師	大谷和也	新規採用
整備部整備課技師	山岸竜太	新規採用

愛知県農業用水小水力発電推進協議会のホームページが開設されました。



推進協議会の活動状況や関連情報が掲載されております。

URL : <http://www.aichi-doren.or.jp/shousuiryoku/>

また、本会ホームページ

URL : <http://www.aichi-doren.or.jp/>のバナーから閲覧

することもできます。

# みどり 水土里ネット愛知 事務局機構



▶ <http://www.aichi-doren.or.jp>  
▶ E-mail:midori-net@aichi-doren.or.jp

## 総務部

FAX 052-551-3630

- 総務課 052-551-3611・3612
- 企画広報課 052-551-3613

## 計画部

FAX 052-551-3631

- 計画課 052-551-3614・3616
- 調査課 052-551-3618・3620
- 水土里センター室 052-551-3621 (FAX 052-551-3634)

## 整備部

FAX 052-551-3632

- 整備課 052-551-3622・3623・3626
- 施設管理課 052-551-3637・3638 (FAX 052-551-3634)
- 測量課 052-551-3639 (FAX 052-551-3634)

